



—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療
先進医療の推進
良き歯科医師の育成

発行責任者 病院長 馬場 一美
編集責任者 広報委員長 丸岡 靖史
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
TEL 03-3787-1151(代表)

ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

お・も・て・な・し

病院長 馬場 一美

昨年は平成から令和への改元があった区切りの年でした。本年は何と言っても2020年東京オリンピック・パラリンピックが予定されております。昨年のラグビーワールドカップ同様、日本人選手の活躍を楽しみにされている方も多いと思います。昭和大学歯科病院も組織委員会からの要請に応じてオリンピック村歯科診療所へ歯科医師、歯科衛生士を派遣し、歯科医療を通じた支援を行う予定です。

東京オリパラといえば2013年(平成25年)9月7日に、国際オリンピック委員会の第125次IOC総会で、滝川クリステルさんが「おもてなし」と発言したことから、この言葉が世界に広まりました。東京にオリンピック・パラリンピックを招致するアンバサダーとして壇上に上り、フランス語で「日本のおもてなし」というものを紹介し、このことで「お・も・て・な・し」は2013年の新語・流行語大賞に選ばれるまでになりました。最近では引用される機会が少なくなりましたが、日本人の国民性を見事に言い当てた表現だと思います。

昨年、ワールドカップラグビー観戦のために来日

した友人(London King's College歯学部教授)も日本人のホスピタリティーには強く感銘を受けておりました。なんでも地方の居酒屋にたまたま入って、席に案内されたところまでは良かったの

ですが英語のメニューはなく英語が喋れる店員もおらず、何をどうすれば良いかわからず困っていたところ、店員はもちろん他のお客さんも巻き込んで、身振り手振りでなんとか食事を楽しみ無事お勘定までできたということです。こんなこと日本以外ではありえないからと、多少の強調はあるかもしれませんが、日本人のおもてなしに感動していました。そういった光景が容易に想像できるのは私だけではないと思います。そしてこの友人の話を聞いてなんだか誇らしい気持ちにもなりました。東京オリパラを通してもっと多くの方に日本流の「おもてなし」を経験して頂き、海外の方に日本のことをもっともっと理解して頂ければと思います。



新国立競技場 撮影者:菱本

新年のご挨拶

副病院長 代田 達夫

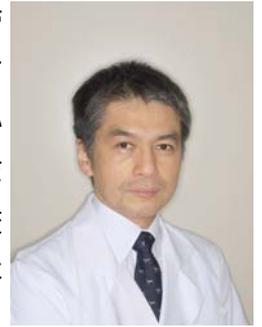
新春を迎えるにあたりまして、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。昨年は今上陛下が御即位されて元号が平成から令和に変わった記念すべき年でした。また、旭化成名誉フェローである吉野彰博士がリチウムイオン電池の開発でノーベル化学賞を受賞され、明るい話題を提供して下さいました。そして、ラグビーワールドカップ2019では、「One Team」を掲げた日本チームが強豪国を破って見事ベスト8に進出し、日本中が感動と熱狂の渦に包まれました。しかしその一方で、列島各地を恐ろしい自然災害が襲い、多くの犠牲者や被災地の惨状を伝えるニュースを目にすることもありました。被害にあわれた方々には心よりお見舞い申し上げます。

さて、当院の1年間を振り返ってみますと、一昨年より始めた土曜日の午後に加え、振り替え休日における診療体制が本格的に開始されました。例えば顎骨の中に深く埋伏した智歯の抜歯が必要な患者さんに対しては、土曜日の午前中に入院してもらい、午後から全身麻酔下で手術を受けていただく体制が整いました。また、振り替え休日にインプラントの手術を希望された場合には、午前

来院していただいて、麻酔科管理の下で静脈内鎮静を行って安全で快適な手術を受けていただくことも可能となっています。このように、当院では学校の授業や仕事などで平日お休みをとることが難しかった方々に対しても、無理してお休みをとっていただくことなく、安心して満足いただける医療を提供できるようになりました。

私たちは「真心をもって何事にも立ち向かう」という至誠一貫の精神に基づいて、単に口腔領域の病気を治療するのではなく、顎口腔機能を改善させることで皆様の健康維持に貢献する全人的な歯科医療を目指しています。本年も日々の研鑽で得た最新の知識・技術を支えにし、また地域医療機関と連携しながら、皆様に最善の医療が提供できるよう努めて参りますので、昨年同様変わらぬご指導・ご支援を宜しくお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして良い年になりますことをお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。



日の出 撮影者:岩野

口腔腫瘍外科では、口腔内の良性腫瘍、悪性腫瘍を対象として診療を行っています。また腫瘍と判断できなくても、長引く口内炎などの「もしかしたら、がん？」という場合も当科で診療を行っています。現在、診療は月曜日、水曜日の午前、金曜日の午前に行っていますが、その他の曜日でも顎顔面口腔外科で初期診療を行っています。また、水曜日は手術も行っているため診療枠を制限している場合もありますので、可能な限り予約をとって受診していただきたいと考えています。

診療の流れ

1) 医療面接

口腔がんは高齢者に多い傾向がありますので、既往歴、内服薬、家族環境などは治療方針を決定する上で重要なポイントになります。

2) 診察

口腔内の視診、触診、悪性腫瘍が疑われる場合には頸部の触診も行います。

3) NBI(Narrow band Imaging)検査

当科ではNBI内視鏡を口腔内診察に使用しています。NBIは食道がん、頭頸部がんの早期発見に有用であることが示されており、口腔がんでも有用です。内視鏡で病変に近づき拡大して観察することが可能となるため目で見るよりも診断力が上がります。また、大きな画面に画像が写りますので、患者さんにも病変を見てもらうことも可能となります。



口腔内の内視鏡検査

4) 血液検査

腎機能、腫瘍マーカー、その他の合併症がないかを判断します。

5) 画像検査

予約検査になりますがCT検査を行います。悪性腫瘍においてCTは頸部リンパ節転移や肺などへの遠隔転移の有無を確認することができるため重要な検査となります。また口腔内の腫瘍はCT検査だけでは確認しにくいこともあり、MRI検査(昭和大学病院)が必要になることがあります。

6) 細胞診・組織診検査

腫瘍の種類や良悪性を判断するために腫瘍の一部を採取し検査します。結果が判明するまでには細胞診で1週間、組織診で10日程度かかります。

上記結果を総合的に判断し、その患者さんに最適な治療法を決定し、インフォームドコンセントを行います。

7) 治療

手術が必要な場合の多くは入院治療となります。合併症や手術の範囲も考慮し当院で行う場合と、昭和大学病院頭頸部腫瘍センター(化学療法、放射線療法、再建手術が必要な場合など)で行う場合があります。病院が変わっても行った検査は共有されますし、我々も両病院を行き来していますので担当する医師は変わりませんのでご安心ください。



NBI

通常光

患者さん満足度調査アンケートご協力のお願い

患者さん 各位

患者さん満足度調査 アンケートご協力のお願い



当院では、患者サービスの向上を図るため、患者さんの声をお聞かせいただきたく、下記の日程において「患者満足度調査」を実施いたします。お手数ですが、アンケートのご記入にご協力くださるよう宜しくお願いいたします。

1. 調査日時： 2月 1日(土)～7日(金) (日曜除く)
2. 配布方法：アンケート用紙は自動再来受付機横に設置のクリアファイルに同封
※初診や予約のない方は各階受付にて配布
3. 回収場所：各階に設置のアンケート回収箱に投函ください



◆調査集計結果は、後日院内に掲示いたします。
ご協力の程お願いいたします。

昭和大学歯科病院

患者さんからの「ご意見・ご要望」についての回答

ご意見・ご要望	回答・改善等
手術中、麻酔が効いていく時、少し気持ちが悪くなる感じがあり怖かったんですが、50代くらいの看護師さんが手をにぎってくれて本当に安心して眠っていったのを覚えています。直接お礼が言えず、この場をお借りして、ありがとうございました。	大変励みになるお言葉、ありがとうございます。手術室内で少しでも患者さんの不安の軽減につながったことをこのお言葉で振り返ることが出来、感謝いたします。今後とも看護師一同、良い対応ができるよう努力してまいります。 (看護部)
熱々のご飯が美味しくて全部いただきました。おかずも熱いものは熱く、冷たいものは冷たくとメリハリがきいています。お味つけも、濃くも薄くもなく、おいしいと思いました。	今後とも、栄養科スタッフ一同、患者さんに入院中のお食事に満足して頂けるように努めていきたいと思っております。感謝のお手紙ありがとうございました。 (栄養科)

編集後記

皆さま健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催される年となりました。日本中の盛り上がりと共にこの新しい年が、皆さまにとってより佳き年になりますように心より願っております。

(S.S)

